

2021 年 4 月 22 日

ほしぞらサロン 2021 年 3 月議事録

文責: 阪本 麻裕

日 時: 2021 年 3 月 27 日(土) 18:00~22:00

場 所: ユリックス会議室 1

参加者: 篠原, 町田*, 松井, 宮田, 山田(明)

(50 音順、敬称略)

職 員: 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 10 名

* リモート(Zoom)参加者

1. 来年度の年間計画について

5 月 12 日(水)はオリンピック聖火リレーに伴う交通規制により、臨時休館となります。

1-1. ほしぞらウォッチングについて

来年度の観望会は年に 5 回実施する予定である。

日付	タイトル	時間	内容	場所
4 月 17 日(土)	「月と春の星空」	19:30~20:00 20:00~21:00	プラネ解説 天体観望	プラネタリウム アクアドーム前広場
6 月 19 日(土)	「太陽の観察」	17:00~18:00 18:15~18:45	太陽観察 プラネ解説	ユリックス正面玄関前 プラネタリウム
8 月 7 日(土)	「夏の星空」	19:30~20:00 20:00~21:00	プラネ解説 天体観望	プラネタリウム アクアドーム前広場
9 月 18 日(土)	「中秋の名月と惑星」	19:30~21:00	月と惑星 の観望	風の丘
10 月 30 日(土)	「木星・土星など」	19:30~20:00 20:00~21:00	プラネ解説 天体観望	プラネタリウム アクアドーム前広場

●ほしぞらスタンプカードについて

例年、ウォッチングに参加するとスタンプがもらえるカードで、スタンプ数によって認定証をお渡ししていた(全参加で金賞など)。しかし新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集客目的で行っていたスタンプカードは、今年度と同様に来年度も中止の方向で考えていた。

これまでの話し合いで、スタンプカードの実施目的を変えてはどうかという案があった。したがって、来年度のスタンプカードは“年間のウォッチングの予定を知っていただくため”という趣旨のもと、行うことになった(認定証はなし)。

1-2. ほしぞら友の会(小学生向け講座)について

来年度は通年で12回(毎月第2土曜日)を予定している。

日付	時間	内容	場所
4月10日	9:30～10:45	オリエンテーション・春の星座	会議室2・プラネタリウム
5月8日	9:30～10:45	プラネタリウムのしくみ	プラネタリウム
6月12日	13:30～16:00	望遠鏡工作	展示室3・プラネタリウム
7月17日 (予備日:22日)	18:30～20:00	月の観察・夏の星座	プラネタリウム・アクトーム前
8月7日	13:30～16:00	ペットボトルロケット工作&打ち上げ	会議室2・多目的広場
9月11日	9:30～10:45	太陽系と宇宙の広がり・秋の星座	会議室1・プラネタリウム
10月9日	13:30～16:00	火薬ロケット工作	会議室1
11月13日	9:30～10:45	火薬ロケット打ち上げ	会議室1・芝生広場
12月11日	9:30～10:45	流れ星について	会議室1・プラネタリウム
1月8日	13:30～16:00	日時計工作・太陽の観察	会議室1・正面玄関前
2月12日	9:30～10:45	地球について・冬の星座	会議室1・プラネタリウム
3月12日	9:30～10:45	星の一生について	会議室1・プラネタリウム

角田: 今回、定員20人のところ34人の募集があった(3月24日当日消印有効)。今年度の友の会が中止になったことを考慮し、30人で実施することになった。

★4月10日「オリエンテーション・春の星座」について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ユリックス会議室2の定員が24人と制限されている。今回はユリックス会議室2で受付をし、オリエンテーションや説明などはプラネタリウムで行う予定である。

★6月12日「望遠鏡工作」について

展示室3(美術ギャラリー)には机がないため、倉庫から運んでくる必要がある。

1-3. ドームイベントについて

4月よりドーム映像作品「HAYABUSA2～REBORN 帰還バージョン」の上映を予定している(全7回)。

=====

上映日: 4月3日(土)・10日(土)・29日(木・祝)

5月2日(日)・4日(火・祝)・22日(土)

6月5日(土)

開始時刻: 17:00～(約45分間)

料金: 一律500円(小学生以上/未就学児入場不可)

=====

※来場した小中学生には、通常プログラムで利用できる鑑賞引換券(1枚)をお渡しする。

1-4. 合宿について

10月17日(日)のプリンセス駅伝の開催に伴う休館日に併せて、来年度の合宿は10月16日(土)～17日(日)を予定している。宿泊をする場合、清和高原天文台で実施したいと考えている。今年度の合宿同様に日帰りで実施するのも含めて、今後の感染拡大状況をみて判断したい。

2. 4月17日(土)の「月と春の星空ウォッチング」について

=====予定=====

18:00 集合・準備

19:30～20:00 プラネタリウム解説【解説:篠原さん】

20:00～21:00 天体観望 [月(月齢5.4)や火星、春の星空]

※雨天時は観望会を中止し、プラネタリウム解説のみ行う。

使用機材: タカハシ②・③[月と火星(同一視野)]

(ビクセン②・③[ミザールアルコルやコルカロリなどの二重星])

※ビクセンはスタッフの人員が不足している場合、使用しない。

=====

篠原: 冬の大三角や春の大三角といった目印以外にも、今回は火星が見えているので火星とベテルギウスとアルデバランを結んでできる“ナゾの赤い三角形”を見てみようと思う。ただし、黄砂の影響や低空での観望のためどこまで見えるかは定かではない。

宮田: 雨天の場合はプラネタリウム解説を2回行うのか。

篠原: 来場者数によるが、来場者が多いと2回行うかもしれない。

宮田: この時期に第4波が来た場合はどうするのか。

角田: そのときの状況で判断したい。しかし、新型コロナウイルス感染症や変異株が流行し始めているため、感染症対策は徹底するべき。

宮田: 屋外で列をつくるときに来場者同士の間隔も空けないといけない。前回(2020年12月20日)のウォッチングの反省で、お客さん同士の距離が近かったと挙げられた。

角田: 2メートルくらいの間隔を空けるための目安や目印があると良い。

平野: ルミカライトはどうか。光って目立つため分かりやすいのではないかな。

-->実際に現地で検証してみた結果、明るく目立っていたため使用予定(50個ほど在庫有り)。

宮田: ちなみに、ウォッチングを実施するか否かの判断はどうするのか。

角田: 政府や福岡県の発表に準ずるか自主的に宣言するかのどちらかになると思われる。

宮田: もしこのまま実施するのであれば、穴を開けた紙コップにアイピースをホットボンドで接着したものを用意しないといけない(タカハシ用)。そして、そのアイピースを天頂プリズムにつける。そのため、紙コップをつけた状態でつけることができるのか確認する必要がある。

-->4月3日(土)に、タカハシとビクセンに天頂プリズムをつけることができるか確認を行う。

次回のほしぞらサロンは、2021年4月24日(土)です。